

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	レインボースマイル			
○保護者評価実施期間	令和7年11月20日		～	令和7年12月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)	19
○従業者評価実施期間	令和7年11月20日		～	令和7年12月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月9日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広い空間を活用した運動や基礎体力の向上	自由遊びでは、参加する児童の意見を聞き取り、時間内であれば出来る限り意見に出だ遊びを行えるよう時間を計り、始める前にトラブルにならないようルールの擦り合わせを行ってから遊びを開始している。多くの児童が参加出来るよう内容も難しくないので、児童同士の関わりを増やし、コミュニケーションが取れるよう考え、運動している。	プログラムに関して、一部参加できない児童には役割等を決め、少しずつでも参加出来る個々のプログラム内容を職員同士の話し合いから行っていく必要がある。
2	職員の連携や支援に対する方向性の統一性	児童に対する支援の方向性や課題に各職員が意見を出し合い支援に臨んでいる。また、その日の終わりに、振り返りを実施しており、改善点が必要な点や良かったことなどを話し合い、職員がチームで動けている。	その日に出勤していない職員にも、振り返りの記録を作成して、職員が共有しているファイルに出勤した後で読めるようにしており、全体での情報共有が出来る環境を整えている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練や不審者対応訓練など、各種訓練について時間がある長期休みで行っているが、あまり認識がされていない。	訓練実施時には、必ず連絡帳にて参加した様子を記載しているが、年間を通して数回のため、実施している印象が薄い。また、長期休みで実施するため、長期休みを全く利用しない児童は参加出来ていない。	避難訓練を実施した際の伝え方が、印象に残っていないと感じたため、SNSを利用した方法や工夫して実施していること伝える。長期休みで通所しない児童には、参加する機会がないため、平日でも出来る内容でなるべく全員が参加できる環境を作る。
2	保護者同士の交流や情報交換する関わりが持てる機会がもう少し必要。	昨年は工夫して、お祭りや外部主催のコンサートで踊りを披露するなど、参加したが、保護者同士が話をする場としては、あまり適した方法ではなかった。	令和7年では、前年の意見をくみ取り、地域交流や保護者同士が交流出来る場として、お祭りを開催したが、保護者同士で会話するには、距離感があり、勉強会や講演会のような形式が話しやすいと感じたため、次回は方法を考え、保護者同士がより交流出来る勉強会または講演会を検討する。